

時空超えて沿線散歩

重茂さんスケッチ展

15日まで 小田急各駅の風景描く 喫茶ママ

「小田急沿線 重茂佳伸スケッチ展そのⅣ（百合ヶ丘駅〜厚木駅）」が、喫茶ママ（盛岡市本町通1の8の10）で開かれている。岩手高OB有志の美術団体「石桜モンパルナス」メンバーの重茂佳伸さん（82）＝盛岡市長田町＝が、小田急線各駅の風景をスケッチした13作品を展示している。15日まで。



ママでの展示は4回目。「仲間の協力で展示できて感激」と語る重茂さん（右から2番目）

重茂さんは教員として、長く東京都で勤務。2002年頃に退職して郷里の盛岡に戻る際、慣れ親しんだ小田急沿線をスケッチした。

作品はすべて、現地で風景を見ながら描いた。「店の前に、店の前の場所を貸してほしいと言ったが、『向こう側の店を描くのはうちの利益にならない』と断られた。仕事熱心で感心した」などと、当時の思い出もよみがえる。

重茂さんは幼少期から外でスケッチするのが好きだったといい、「理由はないが、ただほっとして描けて楽しかった」と懐かしむ。

元同僚の二木康夫さん（東京都）が撮影した、現在の各駅の写真も併せて展示。20年の間に景色が様変わりした駅もあれば、面影を残しながらも様子が変わった場所も。

「玉川学園前駅 南口」は、スケッチではにぎやかな喫茶スペース



「小田急相模原駅」

スガ描かれているが、写真ではそのスペースがなく寂しい印象に。「小田急相模原駅」も建物が変わり、景観が変化していることが分かる。

どこか懐かしく、作者が感じた場の雰囲気や伝わる作品を味わえる。重茂さんは「20年間の変化などを感じてもらえたら。楽しく描けて良かったと思う」と話している。

午前11時から午後9時まで。日曜定休。